

**令和 8 年度こども関連施策にかかるデータ連携調査研究業務委託契約に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について**

1 案件名称

令和 8 年度こども関連施策にかかるデータ連携調査研究業務委託

2 契約期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで

3 選定した委託予定事業者

P w C コンサルティング合同会社

4 公募期間

令和 8 年 7 月 17 日から令和 8 年 8 月 21 日

5 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略・氏名順）

委員氏名	役職等
石橋 勇人	大阪公立大学 大学院情報学研究科 教授
上善 恒雄	大阪電気通信大学 建築・デザイン学部 教授
牧野 丹奈子	桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 教授

(2) 選定委員会の開催日

令和 8 年 9 月 1 日（火）及び 9 月 3 日（木）

(3) 審査基準

評価項目	配点
(1) 事業実施にあたっての基本的な考え方	
本業務の趣旨・目的や仕様を十分に理解し、本事業を実施するにあたっての課題認	10

識と、それを踏まえた実施方針が明確に示されているか。	
(2) 業務実施体制	
業務実施体制について具体的かつ明確に記述されており、本事業を適切かつ柔軟に実施するために必要な人数を配置し、かつ、業務責任者や実務担当者が本業務を実施するにあたり適切な専門性（資格、過去に携わった業務での知識等）を備えているか。	30
(3) プロジェクト管理	
① プロジェクト管理の手法、管理の考え方が具体的かつ明確に提案されており、本市にとって適切かつ効果的なものとなっているか	10
② 手戻りを防ぐための取り組みや本市との合意形成を進めるにあたっての取り組み等、円滑なプロジェクト推進のための取組が具体的かつ明確に示されており、本市にとって適切かつ効果的なものとなっているか	10
(4) 方針の構成案及び管理運営プロセス案の作成	
① 方針の検討に影響すると考えるステークホルダーや要件及びそれらについての対応方針が具体的かつ明確に示されており、本市を取り巻く現状や課題、セキュリティ、取り組み姿勢、特性を十分に理解したものとなっているか。	30
② 方針案の構成作成にあたり「本市がこども関連施策を進めるにあたってデータ連携の最適化・利活用に向けた「課題探究」を行い、今後どう在るべきか（データ連携など、どのような位置付けであるべきと考えるか）」及び「検討の進め方、手法及び考え方」が具体的かつ明確に提案されており、本市にとって適切かつ効果的なものとなっているか。	30
(5) 最新動向調査	
国動向・先進事例について調査対象及び調査手法が具体的かつ明確に提案されており、本市にとって適切かつ効果的なものとなっているか。	10
(6) 方針案作成に向けた整理	
次年度以降の方針案作成にあたって、具体的な手法及び工程が具体的かつ明確に提案されており、本市にとって適切かつ効果的なものとなっているか。	10
(7) 課題に対する対応方法	
各種検討を行う中で顕在化する新たな課題・論点についても、柔軟に対応できる力があるか。	10

(合計 150 点)

- (4) 審査を行った事業者（五十音順）
- 株式会社野村総合研究所
 - 株式会社みずほ銀行
 - 合同会社デロイトトーマツ
 - PwCコンサルティング合同会社

全 4 者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

審査項目	A者	B者	C者	D者
（１）事業実施にあたっての基本的な考え方	25点	22点	18点	14点
（２）業務実施体制	84点	66点	54点	39点
（３）プロジェクト管理①	24点	20点	18点	18点
（３）プロジェクト管理②	24点	20点	18点	18点
（４）方針の構成案及び管理運営プロセス案の作成①	84点	72点	54点	48点
（４）方針の構成案及び管理運営プロセス案の作成②	81点	72点	54点	48点
（５）最新動向調査	18点	19点	18点	18点
（６）方針案作成に向けた整理	20点	18点	18点	16点
（７）課題に対する対応方法	20点	20点	18点	16点
合 計	380点	329点	270点	235点